

JR連合

社員で考え社員のための労働運動を目指す企業内労働組合。  
心とところをつなぐ相互扶助活動と、公正な社会を創ります。

ジェイアール・イーストユニオン  
仙台地方本部



# JREユニオン仙台地本

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2丁目1-20 桜井コーポ405号室

TEL 022(352)4679 (FAX兼用)

発行責任者 添田 寿男  
編集責任者 齋藤 勝彦

## 第5回仙台地本大会開催

### 新委員長に添田氏

大会を成功裏に導いた、  
梅宮議長



ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部は7月23日仙台市内において第5回定期大会を開催した。鈴木執行副委員長の開会挨拶からはじまり、梅宮代議員を大会議長に選出し、議事が進められた。来賓として全交運橋本東北支所長をはじめ多くの来賓が激励に駆けつけてくれた。



水間執行委員長挨拶 要旨



行われ、組織結成から3年間先頭に立ち仙台地方本部をしてリードしてきた水間氏が退任した。最後に添田新委員長の団結ガンパローで大会を閉会した。

JR東日本の民主化運動にご奮闘いただいている皆さんに、心から敬意と感謝を申し上げます。7月上旬に発生しました、九州北部豪雨により甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々に

ご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に一日も早い復興をお祈りしたいと思えます。私たちは東日本大震災を経験し多くの方々のご支援を頂きました。JR連合、JREユニオン本部を通じて私たちが出来る支援を今後していきます。

さて、30年前、国鉄改

革を通じて多くの仲間が鉄道を去る犠牲を伴い、不安の渦巻く中でJR東日本がスタートしました。多くの公的企業や行政機関などが雇用を受け入れ、多額の累積赤字を国民の税金で負担いただくなど、国民の皆さまのご理解、ご支援があったことを決して忘れてはなりません。

また、労使に求められているのは、格差ベアの駆け引きではなく、技術継承・人材育成ではないでしょうか。5年10年後を目指し、系統の「プロフェッショナル」の人材確保へ努力と挑戦を続けていくことが今問われていると考えています。

第1点目は、安全についてであります。私たちは、職場の危険や不安を最も確に把握できる立場にあります。その強みを活かして、あらゆる機会を通じ職場からの安全確立に取り組んでいただくことが重要であります。また、労働力不足が深刻化する中、業務量や仕事のしくみを見直し、グループや協力会社を含めて働き方の改革

が今後の重要課題でもあることを認識しなければなりません。職場を私たちの視点から検証していきます。

第2点目は、17春闘交渉は3月15日、会社側から回答が出て、結果4年連続のベースアップが実施されました。民営化されたJRにおいてはスト権が保障されていますが、労働組合法では実施するには全組合員の過半数の決定が必要であることを規約に盛り込むよう求めています。春闘にあたり、「格差ベア」に反対し一律定額ベアを求めるとする東労組は、今年2月に臨時大会を開催し、代議員の多数が賛成するなかでスト権を確立し「全組合員の総意でいつでもたたかえる体制を構築した」としています。

異常な労政のもとで、今後も、大きな事案に対しては、大きな不安を抱えていくことになるのでしよう。JR東日本は、重要な社会インフラを担う企業としての社会的責任を果たす使命を持っています。国民と皆さま、地

域の皆さまの期待にしっかりと応えていかなければなりません。

国鉄改革を経て、JR東日本が発足して、今年30年の節目の年となりました。「自主自立の経営」

「お客さま第一」「地域密着」を柱として掲げ、社員が一丸となって挑戦と自己革新を続けてきたのです。今後はさらに環境変化の激しい時代にあつて、成長を続ける企業であるためには、社員一人ひとりが、環境の変化に合わせて柔軟な自己変革が求められているのだと思います。平成採用者は歴史をしっかりと認識し、

これからの30年をどう描いていくのかを考えていただきたいと思います。国鉄において違法ストを繰り返したことで国民、利用者の信頼を失い、国鉄倒産のきっかけになったことを忘れてはなりません。経営協議会や団体交渉で議論し解決を図ることを第一義としなければなりません。なぜ決着がつかないのか。仮に目的が組織強化とすれば、国鉄時代のあの歴史を繰

り返すものでしかありません。世界最大の鉄道会社であるJR東日本において、国民やお客さま不在のまま、労使双方が社業発展にむけ健全で互いに切磋琢磨し、信頼し合える関係を築くことができない現状は、JRのみならず、社会にとつて大



きな損失であると言わざるをえないと考えています。

3点目は、労働組合の基本は助け合いであり、

組合員の信頼のうえに、職場の課題を最も的確に把握し、会社に問題提起できる力を持つていることが最大の強みだといえます。私は、仲間に寄り添い多様な立場を認め合い、すべての社員が生き生きと働ける職場や、安心して働き続けられる環境を築いていくことが大切であると思っています。それぞれの職場において、仲間の意見を聞き

コミュニケーションを充実させ、信頼される魅力と求心力のある環境づくりを全員参加で進めていこうではありませんか。

併せて、グループ会社や協力会社との連携の必要性はますます高まっています。また、人口減少、労働力不足など取り巻く環境も急速に変化しています。JRイーストユニオンが対応すべき課題や領域が拡大し、新たな発想や企画力が求められています。

最後に、私たちはJR東日本・民間企業に相応しい組合を築くため「民主化闘争」を四半世紀の間、実践し、経過しまし

た。しかし、私たちが理想とする労使関係に至っていませんが、継続し更なる深度化に取り組んでいくしかありません。JR連合の支援単組の仲間の皆さんが私たちに期待し、求めているのは組織拡大であります。民主化闘争勝利を勝ち取るためには、東労組からの組織拡大しかありません。

新たな組織を結成し3年が経過しました。組織の飛躍を誓いあい、組合員皆さんとともに運動を進めて参りました。結果、現在まで、労政の大転換といった大きな飛躍はなかったことは事実です。現状打開といった命題がなされなかったことに対して、大きな責任を感じています。

第5回定期大会を向かえた今、この間の取り組みを、次の5年に繋いでいくことが大切であります。

仙台地方本部の組合員の皆さん、新執行部を中心とした、JR東日本に相応しい組織の飛躍に今まで以上の支援をお願いします。

代議員各位の真摯な議論をお願いし、執行委員会を代表してのあいさつとします。

**仙台地本 新役員**

執行委員長 添田 寿男 (仙台駅)



**執行副委員長**

鈴木 義一(郡山電技セ) 齋藤 勝彦 (幹総セ)

**事務局長**

柘窪 吉則 (南仙台駅)

**執行委員**

小林 俊一 (SS利府駅) 関根 隆文 (TSST福島駅)

橘 伸幸(郡山電力メセ)

青田 節雄 (幹総セ)

清水 孝雄 (多賀城駅)

**会計監査**

渡辺 近 (TSS郡山営業所) 大泉 浩康 (名取駅)

**質疑・討論8人が積極的建設的な発言**

佐藤好一 代議員



磐越西線ワンマン運転ワンマン化により会社は経費の削減となるが、弊害が起きています。検証すべきだ。高速バスにお客様が増えている。JRのサービス低下がその一因になってはいないのか？ 提案されているエルダー

本体内雇用枠拡大の時に合わせて、すでにエルダーとなつていている社員の通勤時間を考えた労働条件等も見直すべきだ。

大塚俊彦 代議員

・郡山土技セの現状

4月から検査の内容が変わったが作業量が多くなつています。工事量も増えた。作業のやり方や工事のやり方をもっと工夫



していくべきだ。土技セは超過勤務が多い。  
・乗務員からの設備申告について、竹や枝の支障の連絡もつと早くならないのか？

鈴木義信 代議員



・地本大会の代議員のあり方について、今のやり方をもう少し続けてみるべきである。組合員の構成年齢をみると考える時期が来ていることは理解できる。

・JR発足30年

労使共同宣言からみると会社は何も変わっていない。対して東労組は先祖返りをしている、昔の動労国労の体質そのものである。それを会社が追認しているようでは、到底東日本の民主化などとは達成できるわけではないと思う。私たちが発している声は正しい。もっともつとこの声を大きくしていかなければならない。会

社はライフサイクルとして職責に見合った賃金制度を決めている。今の賃金制度では格差が発生しているとは言えない。それを一方的に格差とレッテル貼りをするような労働組合はいかなるものか？

労働組合ならきちんとした賃金交渉をして決めるべきである。水面下で時期尚早に不当な交渉。目を覚ませと言わなければならぬ。30年間会社の労政が変わらなかつた。変える努力をすることは絶対必要だ。

駅の委託やワンマン化といった効率化時の管理者の対応が非常に悪い。磐越西線の報告があつたが、空港アクセス線もワンマンである。JR社員もアクセス線社員も1分でも遅れれば案内放送をしてお詫びをしている。地域によって現場での指導の仕方が違う。

佐藤徹 代議員



主務職が助役職以上の仕事をしている現状だ。職責にあつた手当、仕事内容に合った手当とするべきだ。

根本好隆 代議員



・組織拡大の取組み報告これから力強く誘っていく。

・磐越西線のワンマンについて、会社の都合である。お客様第一といっているがお客様を無視した状態である。

支倉和則 代議員



・仙石線で車掌の放送が聞こえないと苦情。お客様の声として出すが一向に改善されない。  
・委託駅と管理駅の関係について、安全のために

連絡したのに逆に取られてしまった。契約書を駅に置いてほしい

柄窪長男 代議員



・空港アクセス線のワンマン化導入時期と変わり仙台以外すべて委託駅となった。委託駅社員は契約上線路に降りられない。過密なダイヤのところである、契約内容を見直すべきだ。安全確保のためにも。

・駅には届けも無く夜間作業していた業者。管理駅がわからないから管理駅に届けなかった。

・早朝南仙台名取間での停車事故。夜中まで遅れを引きずった。車両センターの委託の関係があり入換えが進まなかつたらしい。



瀬戸信作 代議員



・情報格差が生じないよう、もう一度検証が必要だ。

・組織拡大。イーストユニオンの良いところを伝えよう。

・一人でもいいから自分の気持ちを伝えることが重要。

添田事務局長総括答弁

8名の方から貴重なご意見をいただいた。

エルダー制度については、部会ごとに集会を開催し問題点を集約し本部に上申し会社に申し入れをする。

施設関係の乗務員からの申告については確認する。

代議員のあり方については、大会や委員会のあり方をみんなで話し合っ行ってこう。このままでよいのか。多くの方に参加し

ていただきたいため。東労組の動きをきちんと監視していく。良識ある社員と会社に訴えていく。

地区センターの目的と現状がかけ離れてきた。会社側にただして行く。停電関係の列車の遅れについては会社側に委託会社との関係について見直すように訴えているところである。

職場の問題は発生都度地方本部にあげてほしい。組織拡大について議論をして行動をして成果を出そう。

**みんな集まれ！！**  
**本部キャンプ開催**  
**8月27日から28日**

**休暇村裏磐梯キャンプ場**  
**手ぶらで参加OK!**

## 大会宣言(案)

わたしたちは、本日、ホテルレオパレス仙台において、ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部第5回定期大会を開催し、当面の運動方針を確認するとともに、全組合員が一丸となり総力をあげ前進していくことを満場一致で決定した。

ジェイアール・イーストユニオンを結成し3年になるが、この間JR東日本の企業内労働組合として会社の社会的信頼と発展こそが、働く社員の幸せにつながることであり、会社発展のために施策提言、労働組合としてのチェック機能発揮、民主的な労働組合の展開を行ってきた。

国鉄が民営化しJRとなり30年、国鉄時代にはスト権ストで8日間も列車止めてしまい、社会生活に重大なる打撃を与え、利用者からの信頼を完全なまでに失ってしまった。このことは利用者無視の所業と言わざるをえない過ちで、二度と繰り返してはならない歴史である。東労組はその国鉄の歴史を忘れたかのごとく、もしくは平成採用入社が増え国鉄時代のストを深く知る者が少なく気薄になったことを見計らってか、スト権確立の意思を問う投票を行い、事実上のスト権を確立したとして、今後の交渉でチラつかせることであろう。また36協定不締結を道具としチラつかせた交渉を行い、その度に苦勞し振り回されているのは現場の管理者、社員であり、東労組の組合員はどのように思っているのか？今の東労組の動きは旧国鉄時代の労使対立路線に回帰の傾向にあると感じるのは、わたしたちだけではないのではないのか。若い世代への正しい歴史と責任の継承を行わなければ、間違った過去を再び繰り返してしまうのではないのか。昨年末より非現業の若い社員、駅の助役、駅の総務助役が続けて東労組を脱退している。このことは氷山の一角であり、東労組内には今の運動に疑問を持ち嫌気がさしている組合員がまだまだ沢山いる。そんな状況の中、わたしたちの組織は組織拡大が進んでいないのは、積極的なアピール、本気の行動がまだまだ足りないのではないだろうか。国労においては東労組からの若い世代社員の組織拡大を勝ち取っている。これは積極的に行動した結果ではないか。われわれに何が足りないのか考え、見習うべき点は見習うべきであり、「行動なくして成果なし」を唱えているだけでは何も進まない。もっと個々の個性を活かした接点を持ち、積極的にアピール・アタックし、組織で連携した全体での取り組みに繋げて行き、必ず組織拡大をしなければならない。また自分達が魅力を感じる組織でなければ、加入したいと思わないし、若い世代が加入したとしても、組織内がバラバラでは東労組のからの攻撃にまもることもできない。いま以上に組織内の組合員間の意思の疎通、仲間の連帯強化を図り、活気ある魅力的な組織をつくっていかなくてはならない。

安全最優先の風土づくり、労働条件職場環境の改善向上、社会からの信頼獲得、働くことを軸とした安心社会の構築、人材育成・技術継承、あるべき労働組合像・労使関係像の実現、民主化闘争の完遂等々、クリアする課題は沢山あるが、一つずつ確実に乗り超えなければならない。組織の力を高め組合員全員一丸となり必ず組織拡大をする。

以上、宣言する。

2017年7月23日

ジェイアール・イーストユニオン  
仙台地方本部第5回定期大会



本部秋山執行副委員長



安西退職者連絡会会長



進行は柝窪事務局長



大会終了後の懇親会



小野亘理町長会議員

### 今後の主な行事

8月5日  
第3回退職者連絡会総会  
福島 多加橋 11時

政策フォーラム宮城県研修会  
ハーネル仙台  
13時45分

8月12日  
第2回地本執行委員会  
地本 10時

8月27日～28日  
本部キャンプ  
休暇村裏磐梯

9月8日  
新潟地本主催ゴルフ  
中鉢ゴルフ倶楽部  
8時30分

9月26日  
JR連合東北地協第26回  
定期総会  
レオパレス仙台13時